



# 志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校  
平成30年度学校だより  
第9号  
平成30年11月30日発行

## 成長が実感できる12月に



季節が進み、朝霧の中、元気に登校してくる子どもたちが上着を着て、手には手袋をはめる姿も増えてきました。なかよし広場のイチョウもすっかり葉を落とし、黄色いじゅうたんが広がっています。

11月は、人権旬間の取り組みを行いました。初めの人権集会で「命を大切にし、自分も友達も大切にしよう」と読み聞かせを聞いたり、児童会の取り組みについての劇を見たりして、子どもたちはそれぞれが真剣に考えました。そしてこの1か月、様々な場で思いやりのある姿や友達と一緒にがんばろうとする姿を見ることができました。

1年生が志楽幼稚園とタンポポハウスの子供たちを迎えて、秋のものを使って一緒に遊びました。たくさんの木の実や箱などの材料を選ぶとき、一緒に何を作ろうかと相談するとき、一緒に作り上げるとき、作ったおもちゃで遊ぶときの子どもたちの表情は、とても柔らかく、小さい子の顔を覗き込むようにしながら相談する姿は、本当に素敵でした。1年生も年長児も笑顔いっぱい2時間を終えることができました。

11月27日には就学時検診を行いました。今年、来年度本校に入学予定の49名の子どもたち一人一人に5年生が付き、検診場所まで案内をしたり、検診の仕方を説明したりしました。

手をつなぎ、「次は、〇〇検査です。」と小さい子の歩く速さを気遣いながら歩いていました。はじめは緊張した面持ちの子どもたちでしたが、検診が終わるころにはペアの新入学児とすっかり打ち解け、楽しそうに話をする姿が見られました。その顔からは来年度最高学年になるという自覚を伺うことができました。

2年生の11月は「九九マスター」を目指して、友達と切磋琢磨する姿であふれていました。友達と一緒に九九を唱え、担任以外の先生にもどンドン聞いてもらい、一人一人が本当によくがんばりました。あと少しで九九マスターになれる子どもも、今、最後の追い上げをしています。

3年生は、ダイヤモンドパトロール隊の皆さんにお世話になり、スーパーマーケット見学に行きました。お店の人の工夫や苦勞、願いを実際に見たり聞いたりして、感じ取ってきました。4年生は、多くの方にお世話になり、福祉体験をしたり、身障者センターへ行って見学したり、障害のある方と交流して来たりしました。自分には何ができるのかを考えることができました。

そして、6年生。11月15日に行われた市の合同音楽会に向け、練習を積み重ねてきました。当日は、プログラムの1番を飾り、堂々と演奏してきました。そして、みんなで心を一つにして作り上げていくことの大切さ、それを成し遂げたときの心地よさを味わうことができました。

自分も友達も大切にすること、そして何よりも命を大切にすること、それが毎日の生活を豊かにしていくことにつながるということを、日々意識していきたいと思います。保護者の皆様・地域の皆様の温かい見守りをこれからもよろしくお願いいたします。

いよいよ2学期まとめの12月。多くのことを体験し、感じてきたことを振り返り、それぞれが成長を実感できるように取り組んでいきます。かぜが流行する時期になってきました。うがい・手洗いの励行と「たっぷり栄養、ぐっすり睡眠」の声かけをおうちでもお願いします。



校長 小森昌子  
教職員一同

### 発信する

子どもたちは、生活科の学習や総合的な学習の時間に、たくさんの地域の方や保護者の皆さんにお世話になって学習を進めています。

学習が進み、まとめをしている子どもたちは、その成果を誰かに伝えたいと考えます。

今年度、「コミュニケーション集会」を設け、他の学

年に学んできたことをどのように発信すれば、伝わるのか学ぶ機会としています。コミュニティスクール推進委員の皆さんにも発信の機会を持つことは大切だご意見をいただきました。

地域の方を招待して発表会を行う学年もあります。ご協力いただければ幸いです。